

「八幡市子ども会議」だより

発行：八幡市教育委員会 令和7年3月

「八幡市子ども会議」とは

「八幡市子ども会議」は、「八幡市の未来を担う子どもたちが、あらゆる人に対する思いやりや、いたわりの心、生きることの尊さについて考え、人々が生涯を通じて等しく、充実した生活ができる社会をめざして、自分の意見を表明し、子どもの立場から議論・提言をすること」を目的とし、平成16年度から継続し21年目を迎えた取組です。

本年度は、市内小・中学校と京都府立京都八幡高等学校の児童生徒32名の委員が、昨年6月から本年2月まで、八幡市をよりよくすることを目指し、自分たちで決めたテーマについて、話し合いや調査研究、インタビュー等を行い、市長への提言にまとめました。また、活動を進めるに当たり、立命館大学政策科学部 稲葉 光行教授にご指導いただくとともに、稲葉ゼミの大学生にも活動のサポートをしていただきました。

「令和6年度 八幡市子ども会議 –市長への提言–」

令和7年1月18日に、初の議場（市役所6階）にて、市長への提言を行いました。各班の主な提言内容を紹介します。

小学生A班

四季団子

「八幡の四季、まるごと体験！ ～竹と団子でつながる心～」

八幡の四季を楽しめるように、七夕祭りやランタン祭り、八幡の竹串を使用した四季団子を提案しました。写真映えする光景を生み出し、SNSなどを通じた拡散効果が見込め、地域への愛着向上や観光客の増加が考えられます。



小学生B班

「BB 作戦 竹と防災」

八幡市の放置竹林対策や、学校の授業で竹を使った防災グッズ製作の導入や防災授業も実施する「BB作戦」を提案しました。八幡の竹消費を促進することで、放置竹林の解消や防災意識の向上が考えられます。

防災グッズ



小学生C班

意見ボード

「こども動物園をもっと楽しく！」

イベント開催やクイズ、季節に合わせた装飾、動物園の意見募集など、市民の意見を生かし、市民の交流の場としての活用を提案しました。八幡市こども動物園の活性化、市民交流促進、観光振興が考えられます。

市長ヘクイズ



中学生班

PRカード

「やわたけモルック ～八幡オリジナル・モルック～」

世代を越えて楽しめる機会を増やすため、八幡の竹で作り、八幡独自のルールで八幡らしさをPRする、オリジナルのモルックを提案しました。異世代交流促進と健康づくりが考えられます。



やわモル

高校生班

実験用ロケット

「八幡から宇宙(そら)へ！」

八幡市に飛行神社があることから、航空や宇宙に関心を持ってもらうため、竹の紙で作る紙飛行機やロケット飛ばし大会、航空関係者を招いた学校イベントを提案しました。八幡市や全国で航空や宇宙に興味を持つ人が増えることが考えられます。



1年間の活動レビュー

夏休みには、市役所で、職員へのインタビュー活動をしました。



実際に調理をしたり、フィールドワークに出かけたり、体も心も動かして、調査・研究活動をしました！



講評 立命館大学政策科学部教授 稲葉光行先生

子ども会議委員のみなさん、そして提言にあたたかいお言葉をくださった川田市長様、議場で発表する機会を作ってくださった小北議長様、ご来場の皆様、本当にありがとうございました。子ども会議は毎年すばらしくなっています。特に今年の提言は、私が想像していた以上に素晴らしくとても感動しました。委員の皆さんには、この経験を大切にして、「自分には無理かも」と思わず、いろいろなことにチャレンジしてほしいです。そして21年間続く「子ども会議」という特別な場がある八幡市で育ったことを誇りに、世界へ羽ばたいて行って欲しいと思います。

